

教科・科目	対象学科 ・学年	単位数	教科書	使用教材	
情報・ 情報 I	普通科 ・2年	2	最新情報 I (実教出版)	最新情報 I 学習ノート(実教出版)	
科目的概要 と目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育てる。				
月	単元	学習内容	評価方法		
			知識 技能	思考・判断 ・表現	主体的に学習に 取り組む態度
4 5 6 7	2章 メディアと デザイン  1章 情報社会と 私たち  3章 システムと デジタル化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報デザイン</li> <li>・文書作成の手順</li> <li>・プレゼンテーションの手順とスライド作成</li> <li>・メディアの種類と特性</li> <li>・情報社会の現状、</li> <li>・情報の特性</li> <li>・知的財産権</li> <li>・個人情報とプライバシー</li> <li>・コンピュータの構成と動作の仕組み</li> <li>・デジタル化とデジタル表現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の中で利用されている情報デザインについて理解している</li> <li>・情報社会と人間との関わりについて考え、理解している。</li> <li>・知的財産権について理解している。</li> <li>・コンピュータの構成や動作の仕組みについて理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を正確にわかりやすく伝える方法を理解している。</li> <li>・情報の特性を活用した事例を挙げることができる。</li> <li>・個人情報やプライバシーを扱う際の注意点を挙げることができる。</li> <li>・情報量を適切な単位で表現したり、変換したりできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報をわかりやすく伝達するために工夫して表現している。</li> <li>・情報化が個人に及ぼす影響について考えている。</li> <li>・知的財産権を適切に活用しようとしている。</li> <li>・コンピュータによる演算や数値計算の仕組み、データ量の計算に关心を持って取り組んでいる。</li> </ul>
9 10 11 12	4章 ネットワー クとセキュリ ティ  5章 問題解決と その方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信ネットワークの構成</li> <li>・情報通信の取り決め</li> <li>・Webページの仕組み</li> <li>・転送速度とデータ圧縮</li> <li>・情報セキュリティ</li> <li>・問題解決の手順と方法</li> <li>・データの収集と整理、分析</li> <li>・表計算</li> <li>・データベース</li> <li>・モデル化とシミュレーション</li> <li>・モンテカルロ法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークを効率的に利用するための取り決めについて理解している。</li> <li>・情報セキュリティを確保する方法と技術について理解している。</li> <li>・問題や問題解決の意味、問題解決の手順について理解している。</li> <li>・表計算ソフトの活用方法について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に沿って、LANを構成する情報機器の接続を適切に考えることができる。</li> <li>・情報セキュリティの確保に向けて、適切な判断、選択をすることができる。</li> <li>・問題の解決案を検討するために必要な情報を収集・整理し、検討のための適切な資料を作成できる。</li> <li>・問題解決の目的や条件にしたがって、表計算ソフトの関数を適切に適用してデータ処理を行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットの仕組みやサービスに关心を持っている。</li> <li>・情報セキュリティを維持するための技術に关心を持っている。</li> <li>・試行錯誤しながら、粘り強く問題の発見・解決に取り組んでいる。</li> <li>・問題解決のため、表計算ソフト等を用いて収集した情報を処理したり、グラフで可視化したりすることに興味を持っている。</li> </ul>
1 2 3	6章 アルゴリズ ムとプログラ ミング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミングの方法</li> <li>・プログラミングの実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルゴリズムとプログラムについて理解している。</li> <li>・変数や関数、配列を利用して簡単なプログラムを作成できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本制御構造を適切に用いて、簡単なアルゴリズムを表現できる。</li> <li>・プログラムを設計し、適切かつ効率的なプログラムを作成できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミング言語に興味を示し、自ら活用している。</li> <li>・アルゴリズムを考え、粘り強く試行錯誤しながらプログラムを作成している。</li> </ul>